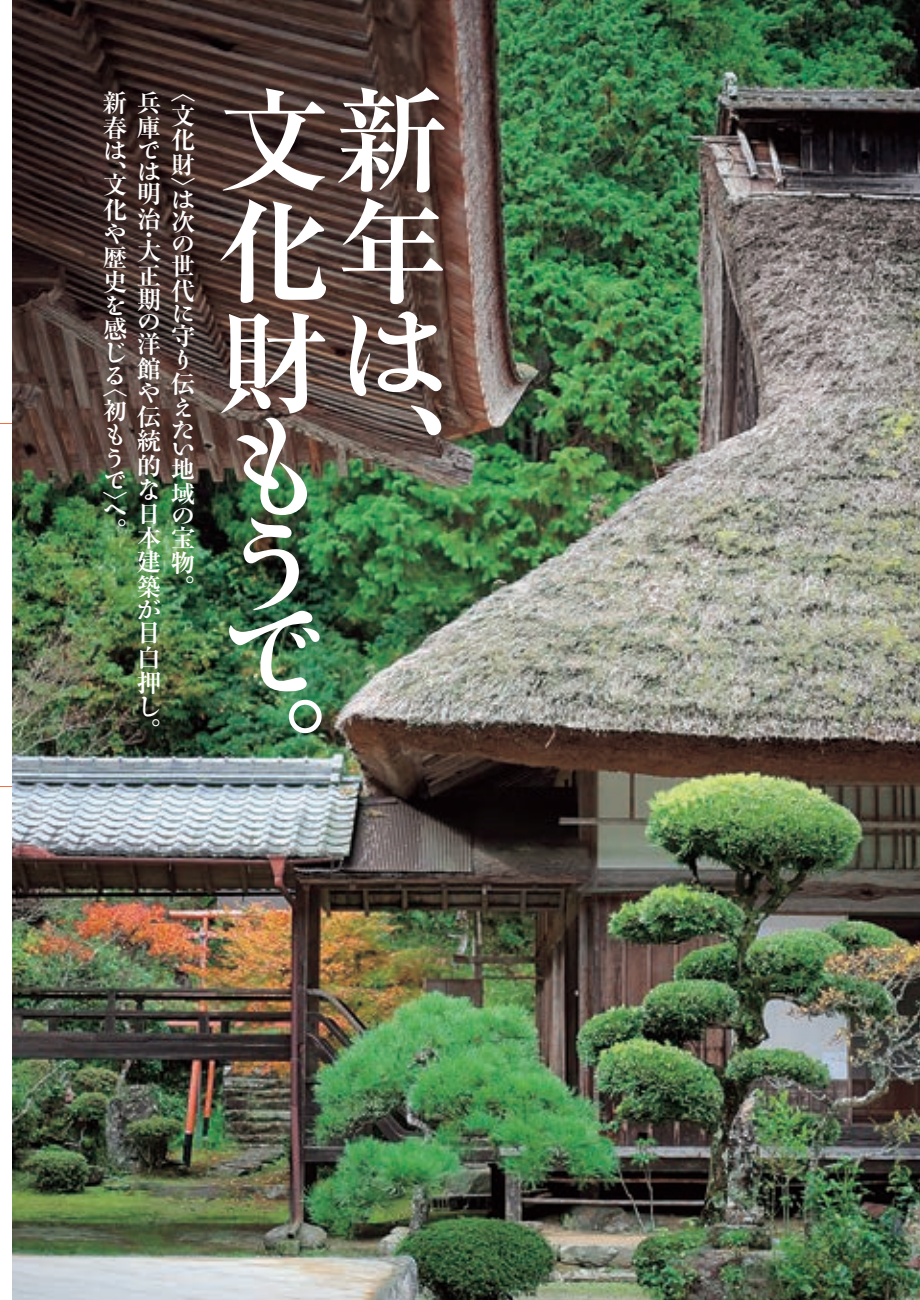




お寺を熟知する村岡さん(左)と中西さんは、84戸ある檀家の総代。「茅葺き屋根は一面で2千束の茅が必要。将来地元でまかなえたらと栽培も始めています」。方丈は江戸後期築。秋は方丈縁側から眺める紅葉の美しいこと！取材日は20人の方が〈持鉢〉を体験。ボランティアの案内も。

新年は、文化財もうで。

〈文化財〉は次の世代に守り伝えたい地域の宝物。兵庫では明治・大正期の洋館や伝統的な日本建築が目白押し。新春は文化や歴史を感じる〈初もうで〉へ。



室町創建の禅寺らしい鄙びた趣きの中。大らかな茅葺き屋根の方丈や庫裏などの伽藍が並ぶ「慧日寺」の風景は、心に染みる美しさ。「境内だけでなく、方丈に上がって建物や庭の風情も楽しんでください」と案内の檀家総代の方々をはじめ、地域の人の手で大切に守られてきた。すそが美

しく反り上がった鐘楼の檜皮葺き屋根は、山南町に昔から多い「原皮師」という檜の皮を剥ぐ技術が必須。若手育成に力を注ぐなど地域の宝を後世に伝える努力に胸が熱くなる。さらに車で約30分、織田家の城下町として栄えた丹波市柏原町では、明治の洋館が新たな町の拠点に。「大手会館」

を運営する「まちづくり柏原」の土田博幸取締役によると、「冷害が続いた明治期に、逆境時こそ教育に力を入れるべきと地元有志が資金を出して建てたそう。和洋の技術が融合した洋館はあの時代ならではの。各時代を生きた人々の思いが詰まった洋館。新たな歴史が始まる春が待ち遠しい。



温かな雰囲気醸すクリーム色の洋館。大ケヤキの[木の根橋]とともに町に欠かせない存在。

丹波市役所柏原支所

たんばしやくしょかいばらししよ

町のシンボルとして親しまれる樹齢千年超えの大ケヤキの隣。1935年に完成し、2004年まで柏原町役場だった。10年前に耐震工事が行われたが、左官仕上げによる天井の凝ったレリーフなどは同じ。1・2階とも開庁時間内は内部見学が可能。

▷丹波市柏原町柏原1 ☎0795-72-0544(代) 午前8時30分～午後5時15分 土・日曜、祝日休(12/29～1/3休) @23台

足を伸ばして、史跡あふれる城下町に息づく、美しい洋館へ。



大手会館

おおてかいかん

正式名は、「丹波市立旧氷上高等小学校校舎」で、県指定文化財。女学校、病院などに利用されたのち、明治の洋風建築の趣きを残しつつ耐震工事を経て、2015年4月文化や歴史など町の魅力を発信する拠点としてオープン予定。1階はレストラン、2階はライブラリーカフェを予定。

▷丹波市柏原町柏原688-3 ☎0795-73-3800(まちづくり柏原) ※2015年春まで工事中につき外から見学を @26台



円柱に支えられた2階バルコニーや瓦屋根など、擬洋風建築の貴重な洋館。印象的な石の門柱もそのままに。中は床近くまである縦長の上げ下げ窓が残され、外の景色が楽しめる優美な建物。

無鹿

「鹿肉のおいしさを伝えたい」という店主の思いが詰まった鹿肉の専門料理店。丹波の豊かな自然で育った鹿は旨みが凝縮。野菜ソムリエでもある店主が選ぶ、旬の丹波野菜とのハーモニーも楽しみ。丁寧に加工処理し、特徴を生かして料理に。築120年の町家でランチを。

▷丹波市柏原町柏原659 ☎0795-73-0200 午前11時30分～午後2時30分、午後6時～午後9時30分 水曜休(12/28～1/2休) @5台

お昼のコース1,814円。鹿コース肉のワインソースなど本日のメインに、有機野菜のスープや前菜、デザートなどが付く。



【柏原への道案内】電車→JR福知山線柏原駅から徒歩 車→舞鶴若狭自動車道丹南篠山口ICから国道176号線で北西へ約30分。または春日ICから国道175号線で南西へ約25分

丹波市柏原町は織田藩城下町。明治の洋館と織田神社(上)や柏原藩陣屋跡(国指定史跡・下)が隣り合う。



文化財のあるまちへ。
かやぶき屋根が美しい、静かな山あいの寺へ。

慧日寺

1375年、室町幕府管領・細川氏が建てた臨済宗の寺。明智光秀の丹波攻めなどによる焼失を経て1670年以降に再興。2014年7月、方丈、庫裏、経蔵、裏門、鐘楼の5棟が国の有形文化財に登録。歴史的建物としては丹波市で唯一。釈迦堂は県の重要文化財。初夏のヒメボタル、モリアオガエルも有名。

▷丹波市山南町太田127-1 ☎0795-77-0354 午前9時～午後4時30分 @あり 道案内 / 電車→JR福知山線谷川駅からタクシー約10分 車→舞鶴若狭自動車道丹南篠山口ICから国道77号線で西へ約30分



「禅寺で心落ち着く時を」と住職ご兄弟が腕をふるう精進料理。上は(朱膳)3,000円。飛竜頭(ひりょうず)、ゴマ豆腐など滋味豊かな8品。下は修行僧の作法が体験できる〈持鉢〉1,000円。7名以上で、1週間前までに要予約。





出石 永楽館 いずしえいらくかん

1901(明治34)年に開館した近畿最古の芝居小屋。活動写真館を経て閉館した建物を、一番華やかだった1922(大正11)年頃の姿に復元したのが2008年の事。驚くほど舞台に近い敷席や、舞台が隅々まで見える2階席、舞台裏の役者部屋や舞台下の奈落まで、往時の趣を忠実に再現。見学だけの利用も可。

改修には8割古材を使い、当時の趣を残す工夫が各所に。「柱の傷も落書きも当時のまま。昔を知る人は(懐かしい)と喜ばれます」と赤浦さん。



▷豊岡市出石町柳17-2 ☎0796-52-5300
午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 入館料/大人300円、学生200円 ※公演日・貸館日以外は館内見学可(<http://www.izushi-tmo.com/eirakukan/>で確認) 木曜休(12/31-1/1休) ©なし



館内見学は公演日以外に受付。歴史を感じさせる木造の舞台や客席、手描きの絵看板を眺めてタイムスリップした気分。使い込まれてアメ色に輝く廻り舞台に始まり、舞台を動かす仕掛けがある奈落(写真左から2番目)、役者の控え室(左)など舞台裏まで巡って大興奮。取材日は片岡愛之助座頭の歌舞伎公演が行われたばかり。役者の出勤表である(着到板)(右下)や、公演の(招き)(右上)が飾られていた。多彩な公演が行われ、3/14には中西圭三のライブを予定。

出石

城下町で歴史あるアートと出合う。

レトロな城下町散歩、出石皿そばの食べ歩きが楽しい出石は、歌舞伎や狂言、大衆文化が身近な町でもある。その拠点が、明治時代開館の芝居小屋「永楽館」。人力の廻り舞台やセリ、絵看板など貴重な舞台造形を守り、6年前に大改修。2014年には県指定重要有形文化財に。花形役者・片岡愛之助の歌舞伎公演が毎年行われる事でも話題だが、「多くの人に使ってもらうことが保存につながる」と館長の赤浦さんも言うように、歌舞伎以外にも、ライブやピアノリサイタルなど和洋の多彩な公演でにぎわう。公演日以外は舞台の隅々まで見学可。アートな町巡りも出石の楽しみに。



古くは登城時間を太鼓で打って知らせたという「辰鼓楼」は出石のシンボル。そこを拠点に、但馬の小京都と言われる基盤の目の町へ。

輝山 きざん

町に約50軒あるという出石皿そば店の中でも、2012年オープンの新しい顔。「ほかのお店にはないことを」と伝統を引き継いだ黒そばと、そば殻の一部を除いたのと越しのいい白そばとを一度に食べ比べられる。お薦めの輝山セットは黒・白そば各2皿に、つけ汁と温かい鴨汁、コウノトリ米のとろろ飯付きで大満足に。

▷豊岡市出石町八木62 ☎0796-52-2033
午前10時30分～午後6時 木曜休(1/1は営業) ©1台



輝山セット1,250円は黒・白のそばに冷たいつけ汁、温かい鴨汁をつけて。追加1皿140円。



[出石への道案内] 電車→JR山陰本線豊岡駅から全但バス、出石下車 車→北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山ICから国道312号線～県道2号線で北東へ約30分



町の中心から少し離れた入佐山のふもとにあり、出石城主の菩提寺。

宗鏡寺(沢庵寺) すきょうじ

沢庵和尚が小出吉英公の帰依を受け再興した臨済宗の禅寺。和尚がつくった本堂庭園「鶴亀の庭」は、県の指定文化財。和尚お手植えの椿・ワビスケが。松下幸之助の寄進で建てられた本格的な禅堂で坐禅もできる(要予約。お茶・お菓子付き1,000円)。

▷豊岡市出石町東條33 ☎0796-52-2333
午前9時～午後4時 拝観料/大人300円 12/31～1/2休 ©20台 電車の道案内/全但バス沢庵寺口下車徒歩約10分



543年に復元された、沢庵和尚が過ごしたという[投淵軒]。本堂からさらに緩やかに上がった山すそに建つ。



旅籠西田屋 はたごにしだや

空き家となった建物を再生し、古き良き町並みを守る地域活性化事業から誕生。昭和初期築の木造2階建て町家が宿に。玄関から裏庭まで抜ける通り土間、どっしりした箱階段、古い簞笥や長持ちなど懐かしい装いにほっこりくつろぐ。1日組だけの一棟貸し切り。

▷豊岡市出石町内町104-7 ☎0796-52-6081(住所・電話は予約先・出石まちづくり公社)
1泊16,800円～(3人まで。4人以上は1人につき3,900円で最大10人まで宿泊可) 予約状況は<http://izushi-matiya.com>で確認 ©あり



キッチンや風呂付きで、ファミリーや子ども連れにも好評。連泊も多い。無料のレンタサイクル、町内の温泉[乙女の湯]の入浴券付き。

文化財のあるまちへ。

姫路

白亜の姫路城を、眺めるなら今！

日本で初めて世界文化遺産に登録された国宝「姫路城」。大修復を終え、来春の「ランドオープン」に伴う天守群などの見学再開が待ち遠しい。現在は、城の華麗な佇まいが見所。「白鷺城」という別名を彷彿とさせる輝くばかりに美しい白さは、今が一番。年

数が経つと、この圧巻の白さは望めません。また見る場所によっても、イメージは一変。私のお薦め絶景ポイントは、西の丸庭園から」とガイドの岡本吉生さん。やや斜めから仰ぐと、重厚感ある男性的な印象！近代城郭建築の最高峰と讃えられる城の奥行きは深い。

姫路城 ひめじじょう

安土桃山時代の優雅な様式を残す「菱の門」を入れ、新旧入り交じる石垣。それらは敵よじ登らせない扇の勾配をもつ。さらに幾重にも固められた門と狭い通路は、敵の侵入を阻むため。戦の城を色濃く残す一方、千姫が休息所とした「化粧櫓」など、各時代の遺構の積み重なりは歴史絵巻をひも解くよう。

▷姫路市本町68 ☎079-285-1146
午前9時～午後5時(4月27日～8月31日は午後6時まで。入城は各1時間前まで) [姫路城ランドオープン] 2015年3月27日(金) ※大天守見学は1日15,000人限定。5月10日(日)までは先着順に整理券発行 入城料/大人400円、5歳～中学生100円(ランドオープン以降は大人1,000円、小・中・高校生300円) 12/29-30休 ◎あり(有料)



【にの門櫓】の唐破風屋根に乗っている十字紋の鬼瓦は、日本の城では珍しい紋瓦。「黒田官兵衛ゆかり」といわれ、キリシタンの名残とも魔除けとも」と岡本さん。

立ち寄り 姫路城西御屋敷跡庭園 好古園 ひめじじょうにしおやしきあとていえん こうこえん

姫路城を借景に広がる池泉回遊式庭園は、1992(平成4)年、姫路市制100周年を記念して造営。江戸時代の地割りを生かした9つの趣の異なる庭は、往時を偲ばせる築地塀や屋敷門に守られ、静謐な景色を描き出す。喧噪とは遠いこの場所で、ゆるり季節を愛でたい。

▷姫路市本町68 ☎079-289-4120
午前9時～午後5時(4月下旬～8月31日は午後6時まで。入園は各30分前まで) [活水軒] ☎079-289-4131 午前10時～午後4時(ラストオーダー) 入園料/大人300円、小・中学生150円 ※姫路城との共通券あり 12/29-30休 ◎あり(有料)



「御屋敷の庭」を眺める食事処「活水軒」が園内に。姫路名物肉厚の穴子のお重や丼のセットなどが。穴子重セット2050円。



「姫路城への道案内」電車↓JR神戸線山陽電車姫路駅から神姫バス 大手門前下車すぐ 車↓姫路ハイバス 姫路南ランから北へ約10分



旧家の風情ある家並みが見られる街道。毎年、家々に伝わるお雛様や道具類を飾るお祭りが(2015年は3月29日から1週間)。

千年以上前に建立された住吉神社・酒見寺の門前町として栄えてきた(北条の宿)。その面影を留める「横尾街道」は江戸時代、西は姫路へ、東は丹波、京、大坂へと続く交通の要衝として、北播磨の中心的な存在だった。歴史的景観形成地区に連なるのは、明治から昭和初期、流通の拠点として贅を競った商家。今夏、国の登録有形文化財「水田家住宅」がカフェ&宿として一般に開かれることに。空間に降り積もった懐かしい日常に出合えそう。



1922(大正11)年に建てられ、家庭用品の卸問屋兼住宅に使われた「水田家住宅」は、卯建(うだつ)や木製ガラス窓など大正時代の商家外観を残す。カフェコーナーは主屋の土間と座敷、1日1組5人まで宿泊できる宿は離れにある書院の間が使われている。個人所有の文化財が宿施設に活用されるのは県内初だそう。



横尾歴史街道 町かど亭

よこおれきしかいどう まちかどてい

築100年近い家を守るのは水田さんご夫妻。「開放しようと思ったのは、地域の人が気軽に立ち寄れる場所がほしかったから。古い建物を壊すのではなく、生かすヒントになれば。地域の方々の協力があって成り立っています」と水田加代子さん。町歩きのアドバイスも丁寧。

▷加西市北条町横尾121 ☎0790-43-0262
午前10時～午後3時 火・水曜のみ営業(12/30-31休、1/6-7は営業) ◎応相談

おまかせ盛り合わせセット450円。「ミニお好みやホットサンド、豚汁など取らないものばかり」と加代子さん(左)と前田さん。



立ち寄り 羅漢寺 らかんじ

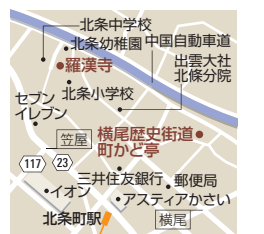
四季折々の花で彩られる天台宗のお寺。境内には肩を寄せ合うように並ぶ400数十体の羅漢の石仏が。江戸時代前の作と伝わり、戦争や飢饉で亡くなった人々を供養したという説もある。風雪に耐え、静かに佇む人間味あふれる表情は、眺めていると優しい気持ちに。

▷加西市北条町北条1293 ☎0790-43-0580
午前9時～午後5時 入山料/大人200円、子ども100円 ◎40台

【北条町の道案内】 電車→JR加古川線または神戸電鉄栗生駅から北条鉄道に乗り換え、北条町駅から徒歩 車→中国自動車道加西ICから西へ約10分



笑ったり、静かな眼差したり、ひとつも同じ表情がないのおもしろい。



遺跡に 目覚める。

先人の知恵を今に伝える文化財の中で、最も古いのが史跡。兵庫県は古墳の数が全国で一番多いと言われているをご存じだろうか？ 垂水の住宅街に突如現れる前方後円墳「五色塚古墳」。初めて目にする全長194mの巨大なスケールに圧倒される。階段を上ると古墳の真上を散策

でき、明石海峡大橋と海の絶景が！ 複製の埴輪がズラリと並ぶ後円部はパワースポットでもあり、こんなに親しみやすい古墳があるととは感激する。



旧武藤山治邸 きゅうむとうさんじてい

鐘紡の発展に尽力し、政治家としても活躍した武藤山治が1907年に建てた邸宅。木造2階建てのコロニアル洋式。円形バルコニー、下見板張りの外壁などが特徴。2011年、国の登録有形文化財に。1階は食堂と応接室、2階は書斎や貴賓室が。明治の実業家の生活と洋館様式を伝える。コンサートなども開催。

▷神戸市垂水区東舞子町2051 舞子公園内 ☎078-785-8610 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 入館料/大人100円、高校生-65歳以上50円 月曜(祝日の場合翌日)休(12/29～1/3休) ◎あり(有料)

武藤山治が敬愛したナポレオンの肖像画など絵画コレクションも貴重。毎月第3土曜午前中は2階バルコニーも公開。

古墳の西側の道から、海の方へ下って行くと舞子の浜。かつては白砂青松が美しい景勝地で、明治期には別荘や旅館が建ち並び、大変なにぎわいだったそう。往時の面影を伝える洋館が「旧武藤山治邸」と「孫文記念館」。優雅な暮らしぶりを伝えたり、歴史を物語る建物が保存され、見学できるのは貴重なこと。心豊かな時間を過ごしたい。



印象的な驚色の外観。かつて鹿鳴館を彩った金唐紙が移情閣の階段に。天井の中央は1階は龍、2階は鳳凰と牡丹の木彫りが豪華。展示は孫文と神戸の関わりが中心。

孫文記念館 そんぶんきねんかん

中国近代革命の父と仰がれ、神戸と縁が深かった孫文を顕彰する日本唯一の記念館。1984年開館。神戸を拠点に活躍した中国人実業家・呉錦堂の別荘[松海別荘]が前身。1915年に増築された八角三層の[移情閣]がシンボル。復元された金唐紙の壁紙などが美しい国の重要文化財。

▷神戸市垂水区東舞子町2051 舞子公園内 ☎078-783-7172 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 入館料/大人300円、中小学生150円 月曜(祝日の場合翌日)休(12/29～1/3休) ◎あり(有料)



五色塚古墳 ごしきづかこふん

県内最大の前方後円墳。4世紀末頃、明石海峡と周辺を支配した豪族の墓とされる。1965年から10年の歳月をかけて発掘調査と復元工事を実施。古墳は3段に分かれ、斜面を葺石が埋め尽くす。前方部の石は淡路島東側の海岸で産出された当時のもの。計2,200本が立てられていた埴輪は事務所に本物をいくつか展示。

▷神戸市垂水区五色山4 ☎078-707-3131 午前9時～午後5時 見学料/無料 月曜(祝日の場合翌日)休(12/29～1/3休。1/1は初日の出鑑賞のため午前6時～午前8時まで開園) ◎あり 道案内/電車→山陽電車霞ヶ丘駅から東へ徒歩約5分、またはJR神戸線・山陽電車垂水駅から西へ徒歩約10分 車→第二神明道路高丸ICから商大筋を経て南へ約10分

濠の外から前方部を眺めると斜面にびっしり葺かれた石がモダンアートのように。複製の埴輪が並ぶ頂上からは明石海峡大橋、淡路島が間近に。晴れた日は紀伊半島まで見える。

垂水・舞子 住宅地の中に古代のスピリチュアル。



【舞子公園への道案内】電車→JR神戸線舞子駅・山陽電車舞子公園駅から南へ徒歩約5分 車→第二神明道路高丸ICから南へ約10分

レストランテ ミア アルベルゴ

海辺に佇む[ホテルセトレ神戸]の1階。ミラノの老舗[アンティーコ・アルベルゴ]で修業した総料理長が持ち帰ったレシピを中心に、淡路島の契約農家の野菜、明石の鮮魚、イタリアの最高級食材を用いた料理が人気。海を眺め、ぜいたくな昼下がり。

▷神戸市垂水区海岸通11-1 ホテルセトレ神戸・舞子1F ☎078-708-3331 ランチ午前11時30分～午後2時30分、ディナー午後6時～午後9時(いずれもラストオーダー) 火曜休 ◎45台

ランチは1,700円から。3,600円のジュゼッペコースは前菜盛り合わせ、サラダ、パスタ、肉or魚料理、ドルチェで大満足! ア・ラ・カルトから選べるパスタは淡路産豚豚のラグー赤ワイン煮込み。イタリア産豚肉ソーテーはトマトソースを染み込ませた揚げパンと。



舞子公園の海を眺める洋館も。

立ち寄り



史跡五斗長垣内遺跡

しせきごっさかいといせき | 淡路市

2007年に発見された、国内最大級の弥生時代後期、鉄器生産遺跡。竪穴式住居が復元され、古代人の生活を体感。敷地内の[まるごキッチン]では、地元の野菜や米を使ってランチを提供(土・日曜の午前10時～午後4時。ランチ午前11時～売り切れまで)。

▷淡路市黒谷1395-3 ☎0799-70-4217 (五斗長垣内遺跡活用拠点施設) 午前9時～午後5時 見学自由(10人以上でガイド予約可) 月曜(祝日の場合翌平日)休 @30台 道案内/電車→JR神戸線舞子駅から高速バス、北淡IC下車。タクシーに乗り換え約5分 車→神戸淡路鳴門自動車道北淡ICから南東へ約5分



播磨大中国古代の村

はりまおほなにかのだいのむら | 播磨町

緑豊かな史跡公園の中に、弥生時代の[大中国遺跡]の住居跡を数多く復元。隣接する[兵庫県立考古博物館]では、発掘体験や古代の衣装の試着もできる。五感を使って考古学を楽しんで。

▷加古郡播磨町大中国1-1-1 ☎079-437-5589(兵庫県立考古博物館) 午前9時～午後5時(4～9月は午後6時まで) 入場無料(博物館は大人210円、大学生150円、高校生100円。特別展期間中別料金) 月曜(祝日の場合は翌日)休(12/24～1/1休) @114台 道案内/電車→JR神戸線土山駅から北西へ徒歩約15分 車→第二神明道路明石西ICから北西へ約10分



[有年への車の道案内]
山陽自動車道赤穂ICから県道457号線を北へ約20分

県内各所に、こんな遺跡が。

東有年・沖田遺跡公園

ひがしうねおきたいせきこうえん

縄文時代後期から室町時代の集落が見つかり、現在は弥生時代と古墳時代の遺構が復元されている。弥生ムラでは住居2棟を復元。直径12mの2号住居は県内屈指の大きさ。道路を挟んだ古墳ムラは住居3棟、高床建物1棟を復元。弥生時代は火を焚く炉があり、古墳時代には竈があるなど住居の違いも楽しい。県指定史跡。

▷赤穂市東有年1936 ☎0791-49-3993 午前10時～午後4時(入園は午後3時30分まで) 入園無料 火曜(祝日の場合翌日)休(12/28～1/4休) @13台 電車の道案内/JR山陽本線上郡駅からタクシー約15分



6世紀の木虎谷2号墳。木虎谷古墳群の中で最も大きく(直径15m)、石棚を持つ珍しい構造。県指定史跡。鹿避けネットが開いていたら中に入れる。民家の軒下を通るので配慮して見学を。



立ち寄り

グリーンデイズ

緑あって祖母の家で住むことになり、北欧雑貨の販売とカフェを始めた井下隆さん、みどりさん夫妻。築60年の離れをリノベーションした建物は心むす雰囲気。地野菜豊富なスパイシーカレーや体に優しい素材のスイーツ、心華やぐ香りの北欧紅茶など上質な味わい。

▷赤穂市高雄1799-4 ☎0791-48-8638 午前10時～午後6時(土曜は午後9時まで) 火・水曜休、臨時休あり(12/23-24は営業。12/29～1/1休) @なし 車の道案内/山陽自動車道赤穂ICから国道250号線～県道90号線で北東へ約25分。高雄交差点北の五叉路を右折(高雄駐在所方面へ)



チキンと野菜のカレー・サラダ付き1,000円。「オリジナルブレンドコーヒーや季節のドリンクもお薦めです」と隆さん。北欧のテーブルウェア、美濃和紙の便せんなど生活を彩る雑貨も。



古墳ムラの高床倉庫。丸太1本の階段を慎重に上ると中に。入り口に腰かけて竪穴住居が並ぶムラを眺めていると、古代にやってくる気分になるから不思議。

「三角縁神獸鏡は「地元で大事に展示されてこそ意味がある」との願いでここに、縄文時代の石鏃や土器も。



赤穂市立有年考古館

あこうしりつうねこうこくあん

約6,000年前の縄文時代から弥生、古墳、飛鳥から中世の遺物が約1,200点。松岡氏が収集した考古・民俗資料に加え、市教育委員会の発掘調査で出土した埋蔵文化財を展示。埴輪の原型とされる弥生時代の大型装飾器台と装飾壺のセットなど珍しいお宝もあれば、生活に密着する道具や器は時代を経て進化する過程がよくわかる。

▷赤穂市有年榎原1164-1 ☎0791-49-3488 午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで) 入館無料 火曜(祝日の場合翌日)休(12/28～1/4休。展示替え期間中などの臨時休はhttp://www.geocities.jp/unekoukokan/で確認) @20台 電車の道案内/JR山陽本線有年駅から北西へ徒歩約25分



「交通の要衝だったので遺跡が多数」と山中さん。館前に移築復元された中山11号墳と。

赤穂・有年

集落に溶け込む驚きの古代の世界。

赤穂市北部の有年には多くの古代遺跡が眠っている。その出土品を見られるのが、「赤穂市立有年考古館」。上郡町の「西野山3号墳」で見つかった卑弥呼ゆかりの「三角縁神獸鏡」の实物の展示で、一躍有名になった博物館だ。遺跡の保存と調査に情熱を傾けた故松岡秀夫医師が、1950年に開設。「貴重な資料が多いのは、松岡医師の患者さんが家周辺で見つけたものを届けたから。河原で拾った石が弥生時代の銅鐸型だったり、土の破片が縄文土器だったり。遺跡を身近に感じてもらえれば」と赤穂市教育委員会の山中良平さん。近くには弥生後期の墳丘墓や竪穴住居を復元した2つの遺跡公園が、いずれも田畑の真ん中にあるオープンな雰囲気。古代にタイムスリップした気分を満喫したい。



1号墳丘墓から2号墳丘墓を眺めて。100個超の土器が出土した長さ20mの溝・祭祀土抗を挟み、一般人を葬った木棺墓群も。墳丘墓と木棺墓を区画する溝が、古墳時代へと続く権力が生まれつつあることを証明。



有年原・田中遺跡公園

うねはら・たなかといせきこうえん

緑の中にある弥生時代後期(約1,900年前)の遺跡。直径19mの1号墳丘墓と直径15mの2号墳丘墓が並び、それぞれ上ることができる。1号墳丘墓には向かい合う両端に凹凸(陸橋部と突出部)があり、その独特の形状は「後の古墳時代に有力者を祀った前方後円墳の始まりなので」と全国から注目される。県指定史跡。

▷赤穂市有年原1090 ☎0791-49-3722 午前10時～午後4時(入園は午後3時30分まで) 入園無料 火曜(祝日の場合翌日)休(12/28～1/4休) @12台 電車の道案内/JR山陽本線有年駅から北西へ徒歩約20分



新しい文化財に!?

神戸ポートタワー | 中央区

開業50年、港神戸のシンボルとして親しまれる「神戸ポートタワー」が、国登録有形文化財に登録されることが決まった。高さ108m、中央がくびれた（鼓型）のプロポーシオンが優美な（鉄塔の美女）。華やかなイルミネーションと夜景で特に印象的だが、中にも三期がほしい。この機会に知り合いを案内して、自慢したくなる！

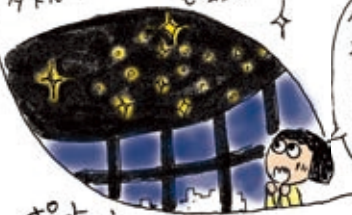


展望フロア4・5F

三浦と港、六甲山と神戸のまちを一望、淡路島、大阪湾まで目とめバツグン！夕焼け、夜景の美しさも最高



飛行機も行きます



夜は天井に季節の星座が浮かびあがるは掛け、キレイ

ポートタワー限定のガチャガチャもありました。ポートタワーとピンバッチ



スカイウォーク展望フロア1F

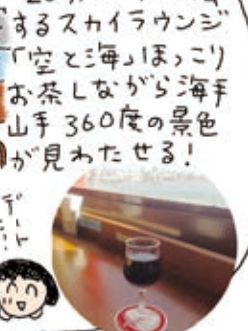
人が近づくと床がスクスク透明に！土土と75cmを足元に見下ろせる。ミースルーガラスが、2ヵ所にベンチも各所にくつつけがます。



ニホ子さん、注意です

回転喫茶室展望フロア3F

20分で1回転するスカイラウンジ「空と海」ほっこりお茶しながら海手山手360度の景色が見わたせる！



500円で絶景に乾杯

メリケン食堂2F

カレーが自慢の洋食レストラン。ポートタワーカレー950円、チキンライスがタワーに！



展望フロアに入場しなくても気軽にランチ利用できます！

なかなかのポリュール感！味もおいしい

お土産もクール!

97-君おびせん 650円はここだけ！
キボテンタリ 1100円
メリケンビール
さすが神戸！オシロシもふあ



▶神戸市中央区波止場町5-5 ☎078-391-6751
午前9時～午後9時(12～2月は午後7時まで。入場は各30分前まで) 【メリケン食堂】午前10時～午後5時(食事は午後2時30分、土・日曜は午後3時30分まで) 【空と海】午前10時30分～午後8時(12～2月は午後6時まで) ※いずれもラストオーダー入場料/大人700円、小・中学生300円 無休(12/31は午後4時30分まで。1/1は午前6時～午後4時30分) ②280台(有料)道案内/地下鉄海岸線みなと元町駅から南へ徒歩約5分 車→阪神高速神戸線京橋出口から南西へ約5分